

大宮アルディージャ
背番号 32 ゴールキーパー

かとう ゆう き
加藤 有輝 選手

伊奈町出身。21歳。
小学校時代を伊奈小針サッカースポーツ少年団で過ごし、中学校進学とともに大宮アルディージャJr.ユースへ入団。高校卒業後にトップチームへ進み、プロ4年目を迎える。



発見! ちょっと気になるまちの人



オレンジキューブ
での練習後にお話を伺いました!

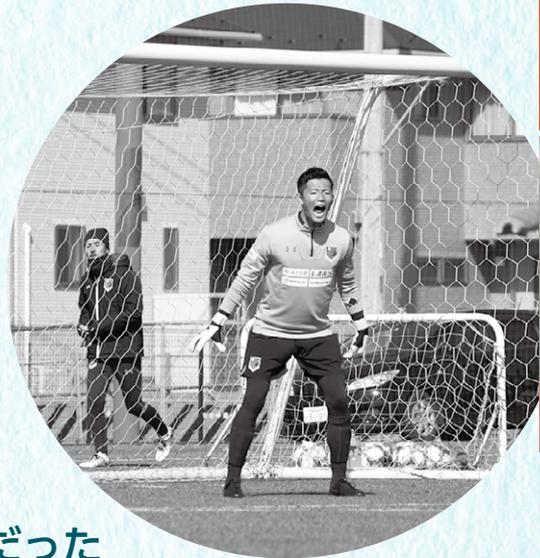


プロサッカー選手として大切にしていること

普段から睡眠・食事に気を付けながら生活しています。練習後は必ず管理栄養士さんがついて食事をとっています。まだ僕はJリーグの公式戦には出場したことがないのですが、やはりプロサッカー選手である以上、Jリーグのピッチに立ってチームを勝利に導きたい。そのために出番がいつきてもいいように1回1回のトレーニングに力を入れ、準備や心構えをしています。ただでさえ、キーパーは入れ替わりがあまりないポジションなので、1回のチャンスを逃さないようにしたいと思っています。

プロを意識し始めた時期

小学生のころから本格的にサッカーをやっていて、そのころからプロになりたいと思っていました。大きなきっかけとしては、中学校進学と同時にアルディージャのJr.ユースに入れたことです。そこからユースにも昇格できて、より自信がつかえました。



サッカーをやめようと思ったこともあった

実は小学生のときはフィールドプレイヤーでしたが、アルディージャに入ったときに体格も恵まれていたのでキーパーへ転向しました。最初はシュートをどんどん決められ、思うようにいかずにサッカーをやめたいと思うこともありましたが、さすがやめずに続けられたのは、普段応援してくれている両親への恩返しや期待に応えたいという想いがあったからです。

“キーパー”というポジションへの想い

僕たちキーパーは一つのミスが失点に繋がります。一つひとつのプレーにこだわりを持ち、90分間集中力を1秒も欠かしてはいけないと思っています。僕は今のキーパーの中で唯一のアルディージャアカデミー出身者なので、今まで教えてくれたコーチへの恩返しもしたいと思っています。

伊奈町で過ごした少年時代——サッカー漬けの毎日だった

小学生のとき、夏休みに町制施行記念公園に行って、毎日朝練習といって多目的広場でサッカーをしてました。放課後もすぐ小針小に行ってサッカー。そういえば、今年も年明けに小針サッカーに初蹴りにいきました。そのときは同い年の当時のチームメイトたちも来てくれました。

同世代の活躍

今プロサッカーでプレーしている瑞希（カタレ富山 新井瑞希さん）も小学校5年生まで小針サッカーで一緒にサッカーをしてました。瑞希は柏レイソルのジュニアユースに入ったので、中学校のときは何度か対戦もしました。たしか1学年上にアイドルをやっている人もいたし、ほかにも活躍している人がいた気がするんですよね。僕たちの世代、優秀なのかも（笑）



▲昨年の成人式にも参加してくれました！
(本人公式twitterより)

今、サッカーをがんばる子どもたちへ

本気でプロを目指している子にはみんなに平等にチャンスがあると思います。想いが強ければ強いほど夢は近くなります。楽しくサッカーをやりたい子も、せっかくやるなら、一つでもいいので目標を持ってがんばってほしいです。親から見ても嬉しいと思いますし、そうやってがんばっているときが一番成長できると思います。



加藤選手公式SNS更新中！

▼twitter 

▼instagram 

好きなアーティストは？
Mr.Children

好きな食べ物は？
レバニラ炒め

嫌いな食べ物は？
きゅうり・ナス・ブロッコリーとか。多いですよ（笑）

座右の銘は？

小学校のときリフティングは何回できた？

1分間に200回くらい

「すばらしい選手である前に、すばらしい人間を」/Jr.ユースでプレーしていたときに、当時アルディージャでプレーしていた北野貴之さんに言われた言葉です。チームメイトとの信頼関係は大事なことですし、人間性を鍛えることで、プレーにも影響していくと思っています。

休みの日は何してる？
映画館で映画を観ています。最近だと「ボヘミアン・ラプソディ」すごくよかったので2回行きました。